

香川県立ミュージアム

新しい常設展が始まります

日本の近代彫刻史に足跡を残した、香川出身の彫刻家！

生誕 140 年 藤川^{ゆうぞう}勇造

- 会 期** 令和5年1月24日（火）～4月16日（日）
開館時間 9:00～17:00
入館は閉館の30分前まで
休 館 日 月曜日
2月28日（火）～3月5日（日）
- 会 場** 香川県立ミュージアム2階 常設展示室4・5
(高松市玉藻町5-5)
- 展示内容** 香川を代表する彫刻家・藤川勇造（1883～1935）は、高松市に生まれ、香川県立工芸学校（現・香川県立高松工芸高等学校）、東京美術学校（現・東京藝術大学）で学んだ後、ヨーロッパに渡ります。
フランスではロダンの傍らで彫刻を学ぶなど、研鑽を積み、帰国後は、彫刻家では初めて二科会の会員となり、同会彫刻部の開設に貢献するなど、日本の近代彫刻史に足跡を残しました。
本展は、その生誕140年を記念して、当館の所蔵品から、藤川の活動の軌跡の一端をたどり、藤川と作品の魅力をひも解きます。
- 展示点数** 28点（彫刻19点、絵画3点（藤川勇造2点、藤川栄子1点）、関連資料6点）
- 観 覧 料** 一般410円 団体（20名以上）330円
高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料
- 関連行事** ミュージアムトーク（担当による展示解説）
日時 2月12日（日）
3月21日（火・祝）
4月9日（日） 各日13:30～ 30分程度
場所 常設展示室4・5
申込 不要、観覧券が必要



藤川勇造《海鳥を射る》昭和7年

※新型コロナウイルス感染症防止対策にご協力の上、ご観覧いただきますようお願いいたします。

■お問い合わせ先 -----

香川県立ミュージアム [学芸課] 〒760-0030 高松市玉藻町5番5号

TEL (087) 822-0247 FAX (087) 822-0049 <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/>



〈裏面につづく〉

7 主な展示品

藤川勇造《朝露》明治41年(1908)



明治36年、工芸学校を卒業し、上京した藤川は、東京美術学校で彫刻を学びます。同校における卒業制作が本作です。卒業した藤川は彫刻家の道を歩み始めました。

藤川勇造《オーベルニュ風景》明治42年頃(c.1909)



東京美術学校卒業後、藤川は農商務省海外実業練習生として、フランスに派遣されます。現地ではアカデミー・ジュリアンで学びます。本作は、藤川が訪れたフランスの避暑地の風景が描かれています。

藤川勇造《ポーズせる女Ⅱ》大正15年(1926)



藤川は帰国後の大正8年、彫刻家としては初めて、二科会の会員に迎えられました。本作は二科展に出品したひとつです。その後、昭和4年(1929)になると、二科会の「二科技塾」(のちに「番衆技塾」と改称)で指導し、後進を導いていきます。

※上記全て、香川県立ミュージアム所蔵